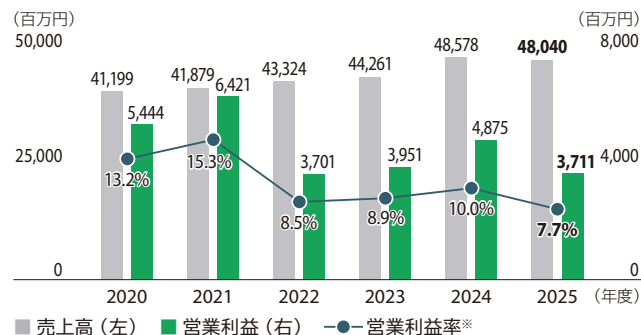


財務ハイライト(連結)

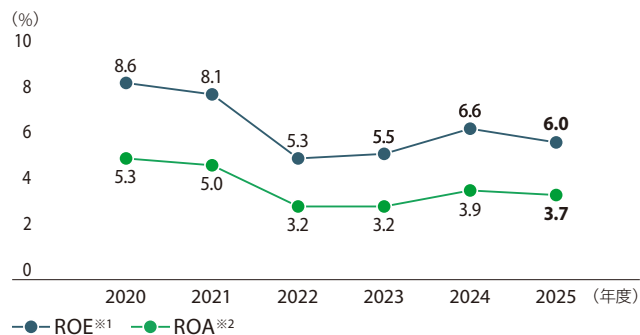
売上高、営業利益、営業利益率



※営業利益 ÷ 売上高 (単年)

2025年度は、機能性色素での増加があったものの、機能性樹脂、基礎化学品、アグロサイエンス、物流関連における減少により、売上高は、前期比で537百万円減(1.1%減)の48,040百万円、営業利益は、前期比1,164百万円減(23.9%減)の3,711百万円となりました。

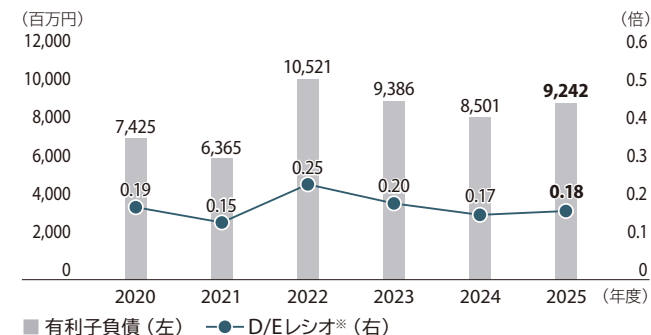
ROE、ROA



※1 当期純利益 ÷ 自己資本 ※2 当期純利益 ÷ 総資産

2025年度は、利益の減少により、ROE・ROAともに低下しましたが、今後も利益の拡大を目指しつつ、資産の効率化を実行してまいります。

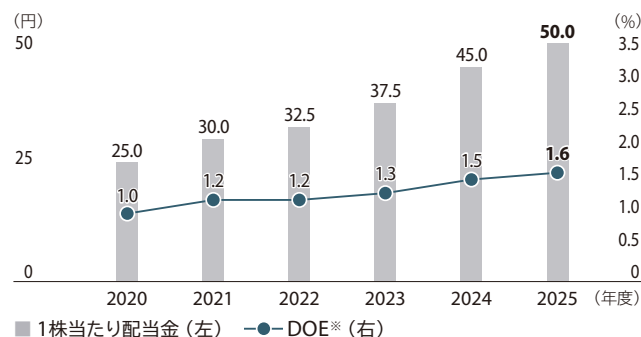
有利子負債、D/Eレシオ



※有利子負債 ÷ 自己資本

2025年度は、設備投資などに伴い、有利子負債は増加しましたが、自己資本の拡大によりD/Eレシオは0.18倍と、低位で推移しました。財務の健全性を維持しながら、将来の成長に向けた投資を進めてまいります。

1株当たり配当金、DOE

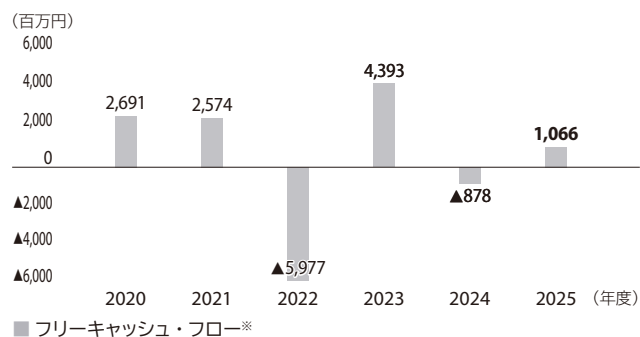


※ 配当総額 ÷ 株主資本 (連結)

財務健全性を確保しながら5年連続の増配を実施しました。成長投資と株主還元の最適なバランスを図り、資本効率と成長性を両立するため、2031年3月期には、DOE3.0%以上の還元を実施いたします。

※ 1株当たり配当金は、株式分割後の株式数を基準としております。

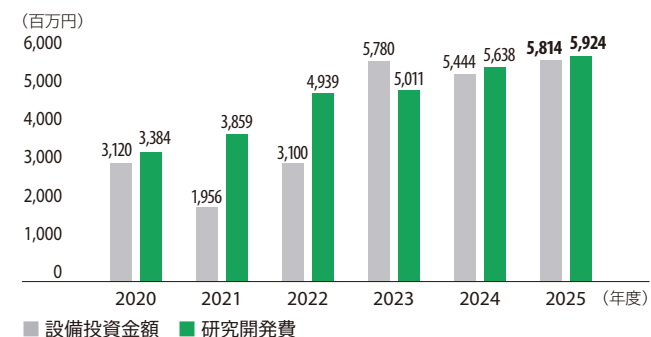
フリーキャッシュ・フロー



※営業活動のCF+投資活動のCF

2025年度は、営業キャッシュ・フローが増加し、定期預金の預入の減少等により、フリーキャッシュ・フローは黒字に転換しました。成長投資を継続しながら、安定したキャッシュ創出力を維持してまいります。

設備投資金額、研究開発費



保土谷化学グループの成長ドライバーである機能性色素セグメントにおける設備投資、研究開発が中心となっており、将来の成長に資する投資や活動を継続して実施してまいります。